

NPO 富里のホタル

NPO法人 NPO富里のホタル 編集委員会 発行 2009.6.25 第10号

■夏休み親子 de ホタル観賞ウォーキング 7/18(土)開催



7月中旬、富里の谷津田にヘイケボタルが乱舞します。夏休みを利用して親子でホタル観賞とナイトウォーキングを楽しんでみませんか。もちろん、親子以外の方も自由に参加できます。なお、ホタル発生地への立ち入りは、谷津田の地権者のご理解とご協力によるものです。観賞マナーを守って参加しましょう！

●日時：7月18日(土)18:30集合、19:00～21:00

【注】雨天の場合は、19日(日)に延期します。

●集合：富里中央公園 駐車場

●コース：約6Km ●参加費：無料 ●携帯品：懐中電灯

●服装：運動靴、虫が気になる方は長袖・長ズボン！

●問合せ先：携帯 090-3499-9161(草野)、Eメール okamoton@themis.ocn.ne.jp(岡本)



(イメージ写真)

■「天神谷津」進入路 ついに完成！

天神谷津のヘイケボタル発生地に至る進入路が、6月7日に完成しました。繁茂した斜面林の裾の伐開から木道づくりまで、私達にとっては難工事でしたが、何とかヘイケボタルの発生に間に合わせる事が出来ました。工事の途中で、地権者の方への説明や報告が不十分で、思いの違いを生じさせてしまいましたが、最後はご理解を頂きました。富里市からの補助金(費用の1/2)を活用して出来上がった進入路ですので、有意義な活用を...との思いがありますが、あくまでも私有地を通して頂いていると言う事も忘れずに、大事に使って行きたいと考えています。

資材の搬入作業
クレーンや一輪車が大活躍



見晴台の製作



女性会員も杭打



●ゲンジボタル観賞会 6/4～6/15 幻想的な光の舞を満喫！

6月上旬から中旬にかけて、ゲンジボタル発生地での観賞会が十数回にわたり実施され、会員やご家族、一般の方にも多数参加して頂きました。皆さまからお寄せ頂いた感想を幾つかご紹介いたします。

★ 6/4(木)「富里市農業士会」の皆さん 14名をご案内

秋元 孝久さん(農業士会々長)：今のこの時代に、こんな身近にホタルを見る事が出来る事に驚き、感動しました。環境保全型農業の必要性が高まっている今、農業に関わる者として、様々な事を思う一夜となりました。NPOの皆さんの今後の活動に期待します！

★ 6/7(日) 成田から「自然と科学を楽しむ会」の皆さん 19名が参加

芦田 麻由さん(中1)：はじめてゲンジボタル見に行ってきた。去年、ヘイケボタルを見たとき、星みたいにきれいだと思いましたが、ゲンジボタルは大きくてゆっくり飛んでいて、ゆうゆうとしている感じがした。また行きたいです。



及川 紘さん：「自然と科学を楽しむ会(成田)」の私たちは、6月7日、草野さん岡本さんの案内ですばらしい観察会をして頂きました。(大人9、小4、中3、高3 計19人参加)発見したばかりだという谷津田のホタルは、アニメのシーンのように優雅で、蚊帳に螢を放して遊んだ世代の私でも目をみはるものでした。手に載せて性別を観察していた小中学生もいて、生涯心に残る体験になったものと思います。富里の豊かな自然と、熱意あふれる「NPO 富里のホタル」の皆様へ感謝、感謝です！

“螢の世界をひたすらに行く大きな目” 今瀬 剛一 *俳句は飯田龍太著『鑑賞歳時記 夏』より

自然と科学を楽しむ会
のみなさん



◎ゲンジボタル生息地 あらたに4ヶ所確認！(調査活動の成果)

➢ 昨年の地藏谷津に続き、ゲンジボタルの新たな生息地を4ヶ所確認する事ができました。飛翔数は多い所、また、少ない所と発生場所によりさまざまです。これからもデータを取りつづけ、ゲンジボタルが棲みやすい環境を維持できる様、保護したいと思います。

➢ 今年は、ホタルの幼虫が水辺から上陸する様子を観察しました。

地藏谷津のゲンジボタルが4月23日に4匹、立沢地区のヘイケボタルが5月27日に3匹ほど水面近くの草むらの中で光っていました。

【メモ】一番最初に上陸を開始する日は、一日中雨の降り続く風のない夜で19時以降、水温と気温の差が非常に少ないか、気温の方が水温より高い場合に限られます。幼虫は雨天か否かを判断するため水際から頭を水上に出しますが、雨天であれば上陸開始、でなければ水に戻ります。(ホタル百科事典より)

ゲンジボタル幼虫の発光器



■大好評のホタル観賞ウォーキング 6/6日

ウォーキング後、ラディソンホテルのロビーで茶会を開き親睦を深める事ができました。



6月6日(土) ゲンジボタルのホタル観賞ウォーキングを行いました。心配していた雨も夕刻までに上がり、遠く竜ヶ崎からの親子づれを含む31名の参加者がありました。ウォーキングの前に、ホタル観賞マナーを説明、東七栄集会場から現地まで懐中電灯で足元を照らしながら歩くこと3.5Km。現地に着くと幻想的なホタルの光にあちらこちらで歓声があがりました。復路は森を通るコースに変更、谷津田の畔に数匹のヘイケボタルを発見して幸運な一夜となりました。

●里山シンポジウムに参加して

5月17日、佐倉市志津コミュニティセンター大ホールにて里山シンポジウムが開催され、会員5名が参加してきました。会場は約350名で一杯となり、里山や自然に関心のある人々で溢れていました。私たちの暮らしに欠くことができない「食料や水、木材」をテーマに、すべて里山からの恵みとして再評価する内容でした。各分野の専門家とのパネルディスカッションや会場との意見交換が行われました。身近で、ホタルの生息にも関わる内容に興味深く視聴することができました。また、コーディネーター吉田正人さんの巧みな話術で、あつという間に時間が過ぎてしまいました。



☆天神谷津☆

いのちの生命のにぎわい

サワガニ (2009/06/14 撮影)

北海道から屋久島まで広く生息するサワガニの英名は、Japanese Freshwater Crab。その名の通り、主に溪流、小川に棲む日本固有種のカニです。水の状態を表す“水質階級”で、“I(きれいな水)”と判断するための、指標生物となっています。また、千葉県レッドリストでは“C(要保護生物)”に指定されています。活動範囲は意外と広いようで、水辺からかなり離れた、谷津斜面林の思わぬ所で見掛ける事があります。

食物連鎖の中では、藻や昆虫類、ミズなどを食べ、カワセミやサギ、イタチなどに食べられるという位置取りです。私達が唐揚げなどで食べるサワガニは、ほとんどが養殖されたものですが、自然界での寿命は10年程です。きれいな水がなければ生きる事が出来ないサワガニが、いつまでも数多く見られる谷津であり続けるよう願っています。



会員紹介コーナー

後藤 基幸さん、富子さん

お忙しい中、今回は奥様の富子さんにお話を伺いました。平成元年37歳で富里に転居し、お仕事は保母から介護士、そしてケアマネジャーとして8年を経験、現在、自宅介護支援事業所「富の郷」を開設して、3年目に入ったそうです。「会の人達が一生懸命、地道な活動をしているのを見る事が出来て、草刈り等で皆さんと逢えるのが嬉しいです。この様な人の輪を作りたいと思っていました」20代の頃、生きるという事を自然から学び、人は自然の中で生かされていると感じてきたそうです。最後に、「今の仕事が続けられたのも主人のお陰です。家庭が基盤、夫婦が基盤です」と笑顔でお話して下さいました。



会員募集

★ ホームページ NPO 富里のホタル 開設、アクセスお待ちしています !! ★

URL <http://www4.ocn.ne.jp/~okgo/>

NPO 富里のホタルは、中央公園や谷津田で、ホタル発生のための自然環境保護活動を行っています。活動に関心のある方は、お気軽にお問い合わせ下さい。(年会費：2000円)

【連絡先】NPO 法人 NPO 富里のホタル 理事長 草野孝江 ☎ 090-3499-9161

会員100名突破！